

## H A C C Pプログラムの整備状況及びその実施状況

項目	チェック事項	調査結果
危害分析	フローチャートの作成及び危害分析を行い、文書化しているか。	レ
	危害の原因となる物質には、潜在的に発生する可能性のある全ての危害が含まれているか。	
	作業工程等の変更があった場合に、危害分析の見直しが行われているか。	
	危害分析に署名及び日付が記載されているか。	
HACCPプラン	製品毎に書面のHACCPプランが作成されているか。	
	HACCPプランで発生する可能性のある全ての危害を特定しているか。	
	HACCPプランには署名及び日付が記載されているか。	
重要管理点	発生する可能性のある危害それぞれについて、HACCPプランでCCPとして記載しているか。	
	CCPは特定された危害に対して適切な管理措置であるか。	
	CCPに関する管理措置は特定された処理工程で妥当か。	
管理基準	各CCPについてCLが設定されているか。	
	CLの科学的・技術的な根拠があるか。	
	CLは既存のモニタリング装置又は方法で測定可能か。	
モニタリング	各CCPについてモニタリング手順が定められているか（実施方法、頻度、実施担当者などを含む）。	
	各CCPにおいて規定されたモニタリング手順はCLを測定する方法として適当か。	
	CCPのモニタリング記録があるか。	
改善措置	CLからの逸脱中に製造された製品に対してとられる改善措置がHACCPプランの中で規定されているか。	
	事前に規定された改善措置は逸脱の原因を是正するものとなっているか。	
	改善措置の記録があるか。	
検証	検証の手順が定められているか（頻度を含む）。	
	検証の記録があるか。	
	HACCPプランの再評価が行われているか。	
記録	記録は正確、完全で閲覧が可能か。	
	記録は偽造や改ざんがなされていないか。	
SSOP	SSOPを作成して、実施しているか。	
	SSOPには署名及び日付が記載されているか。	
	SSOPの実施状況、モニタリング結果及び改善措置についての記録があるか。	
HACCPシステムの教育訓練	モニタリングを行う従業員のトレーニング記録があるか（実施方法、頻度）。	
	HACCPプランの再評価者のトレーニング記録はあるか（実施方法、頻度）。	
	SSOP及びPPを行う従業員のトレーニング記録はあるか（実施方法、頻度）。	
	英語を話せない従業員のトレーニングは行われているか（実施方法、頻度）。	
FSISによる検証及びフォローアップ	FSISによる検証及びフォローアップ	
	FSISによる検証の記録はあるか。	
	FSISによる以前の査察時の指摘は改善されているか。	
指摘事項	対日輸出処理に当たり、A40による月齢確認を行う際の舌の保管方法を従来の国内向けの方法から変更した（従来枝肉と舌を別々に保管していたが、枝肉に舌を懸垂して保管することとした）が、その変更がHACCPプランに反映されていなかった。	